

平成20年 編集規定

日本赤十字秋田短期大学 紀要編集規程

（目的・名称）

第1条 日本赤十字秋田短期大学は、本学教員の研究論文並びに研究教育活動を記録するために「日本赤十字秋田短期大学紀要」（JOURNAL OF THE JAPANESE RED CROSS JUNIOR COLLEGE OF AKITA）を毎年1回発行し、もって看護・社会福祉活動の発展に寄与する。

（掲載内容）

第2条 紀要には、教員の研究論文、研究活動一覧（著書、学術雑誌等掲載論文、学会発表）を掲載する。

（編集委員会）

第3条 紀要の編集発行に当たっては、編集委員会を設ける。

1. 編集委員会は、研究委員会委員をもって構成し、研究委員長は編集委員長となる。
2. 編集委員会は、紀要の編集及び制作に関して責任を負う。
3. 編集委員会は、投稿規程の作成、投稿論文募集、制作（体裁決定、経費、業者選定、校正作業など）を行う。
4. 編集委員会は、教職員の協力を得て、関係機関に紀要の配布、送付を行う。

（査読）

第4条 編集委員会は、査読委員を選定し、投稿論文の査読を依頼することができる。

（投稿規程）

第5条 投稿に関する規程は別に定める。

附則 この規程は平成8年7月16日より施行する。

附則 この規程は平成16年10月19日より施行する。

日本赤十字秋田短期大学 紀要投稿規程

(投稿資格)

第1条 筆頭執筆者は本学教員、編集委員会が認めたものとする。

(原稿の種類)

第2条 研究論文は、総説、原著論文、研究報告、研究ノート、その他とし、未発表のものに限る。
口頭発表した内容を含む場合は発表学会名を、研究費の助成を受けた場合はその旨を明記する。

(倫理的配慮)

第3条 研究は倫理的に配慮し、その旨を本文中に明記する。

(原稿の採否)

第4条 原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。その場合、原稿の修正および原稿の種類の変更を求めることがある。

(原稿の体裁)

第5条

- 1) 原則として論文は和文とし、書式のフォーマットは指定されたサーバからダウンロードし、指定されたフォント、ポイント、字数で作成する事。
- 2) 原稿の一枚目には、以下の事項を付し掲載する。
 - (1) 原稿の種類 (投稿規程 2 の分類)
 - (2) 表題 (40字以内)
 - (3) 著者名
 - (4) 要旨 (和文400字前後)
 - (5) キーワード (5語以内)
 - (6) 英文抄録 (表題、著者名、キーワード、300words前後の要旨)
 - (7) 著者の所属、職名
 - (8) 発表学会名 (学会発表をした場合)
 - (9) 研究助成先 (研究助成を受けた場合)原稿の二枚目以降は、以下の内容を順に記載する。
 - (10) 本文
 - (11) 文献
 - (12) 図、写真、表
- 3) 論文の長さは、図表、引用文献を含めて、14枚以内とする。
- 4) その他執筆要領の詳細は別に定める。

(原稿の提出)

第6条 オリジナル原稿およびコピー1部を添付し、電子媒体 (USBフラッシュメモリ・CD-R等) で提出する。

(校正)

第7条 著者校正は原則として第二校正までとする。校正時の大幅な追加、修正は原則として認めない。

(著作権)

第8条 著作権は本学に帰属する。

(別刷り)

第9条 別刷りは30部まで無料とする。

附則 この規程は平成9年12月16日より施行する。

附則 この規程は平成16年1月20日より施行する。

附則 この規程は平成16年10月19日より施行する。

附則 この規程は平成20年9月18日より施行する。(2008.9.17教授会で承認)

日本赤十字秋田短期大学 紀要執筆要領

1. 原則として新かな使いを用い、句読点およびかっことは1字分を使用する。改行に際しては1字あける。
2. 外来語はカタカナとし、外国人名、日本語として未定着の語は外国語つづりとする。
3. 数字または英語は活字体で明確に記すること。文中の文字は最初の文字以外は小文字とする。
4. 数字は特別の場合以外は算用数字を用い、1マス2字で処理する。
5. 図、写真、表は図1、写真1、表1と番号をつけ、一括して本文の後につける。
6. 図表はそのまま製版できるように必ずA4判原図をつけ、図表・写真の裏に論文名、著者名を鉛筆書きすること。縮小する場合は倍率を記入し、本文中に挿入箇所を記し、印刷位置を明記する。
7. 図表1枚はその大きさに合わせ文字換算し、原稿枚数に含める。
8. 特別な術語以外は、なるべく常用漢字を用いる。やむを得ず特別な字を用いる場合は、本文以外に欄外にも大きく朱書きする。
9. 文献記載の様式
 - (1) 本文中に著者名、発行年次を括弧表示、著者のアルファベット順に列記し、最後一括して本文の後ろにつける。
例) …であることが報告されている(佐藤ら、2001：鈴木、1998)。
例) 佐藤(2002)の研究においては…
 - (2) 記載方法
 - ①雑誌の場合
著者名(共著者全部)：タイトル、雑誌名、巻(号)、p(p)、
*共著者は3名まで表記し、それ以上の場合は(…他)とする。
 - ②単行本の場合
著者名(発行年次)：タイトル(版)、p(p)、出版社、発行所。
 - ③訳本の場合
著者名(発行年次)：タイトル(版)、出版社、発行所、訳者名、タイトル、p(p)、発行所。
10. 文献リストは外国文献、邦文献を一括して著者名のアルファベット順に記載する。
11. 人文、語学関係および上記以外の慣例を持つ専門分野はその分野の慣例に従う。

(平成20年9月17日 第5回教授会承認)